

# 新宿区の給与・定員管理等について

## 1 総括

### (1) 人件費の状況（地方財政状況調査より）

区分	住民基本台帳人口 (7年1月1日現在)	歳出額	実質収支	人件費	人件費率	(参考) 5年度の人件費率
	A 人	千円	千円	千円	B/A %	
6年度	352,717	184,069,591	5,191,870	29,622,576	16.0	14.7

※決算額は「地方財政状況調査」の分析によるものです。

※人件費には特別職に支給される給料・報酬などを含みます。

※令和7年1月1日現在の区の住民基本台帳人口は、352,717人(うち外国人は48,097人)です。

### (2) 職員給与費の状況（地方公務員給与実態調査より）

区分	職員数 A 人	給与				(参考)一人当たり 給与費 B/A 千円	(参考)特別区平均一人当たり 給与費 千円
		給料 千円	職員手当 千円	期末・勤勉手当 千円	計 B 千円		
6年度	2,699	9,820,162	3,886,234	4,941,601	18,647,997	6,909	6,798

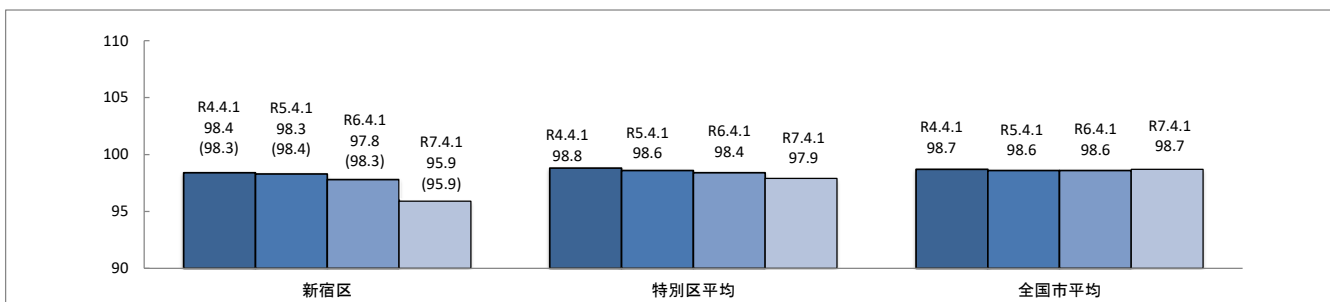
※職員手当には退職手当を含みません。

※職員数については、「地方公務員給与実態調査」による令和6年4月1日現在の普通会計に属する職員の人数です。

また、任期付短時間勤務職員(再任用職員(短時間勤務))及び会計年度任用職員を含みません。

※給与費については、任期付短時間勤務職員(再任用職員(短時間勤務))の給与費が含まれていますが、会計年度任用職員の給与費は含まれていません。

### (3) ラスパイレス指数の状況



※ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数(構成)を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表(一)適用職員の俸給月額を100として計算した指数です。

※ ( ) 書きの数値は、地域手当補正後ラスパイレス指数を指します。地域手当補正後ラスパイレス指数とは、地域手当を加味した地域における国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、地域手当の支給率を用いて補正したラスパイレス指数です。

(補正前のラスパイレス指数 × (1 + 当該団体の地域手当支給率) / (1 + 国の指定基準に基づく地域手当支給率) により算出。)

### (4) 給与改定の状況

#### ①月例給

区分	人事委員会の勧告				給与改定率	(参考) 国の改定率
	民間給与 A 円	公務員給与 B 円	較差 A-B 円	勧告 (改定率) %		
7年度	406,322	391,462	14,860	3.80	3.80	3.62

※「民間給与」、「公務員給与」は、人事委員会勧告において公民の4月分の給与額をラスパイレス比較した平均給与月額です。

#### ②特別給(期末・勤勉手当)

区分	人事委員会の勧告				年間支給月数	(参考) 国の年間支給月数
	民間の支給割合 A 月	公務員の支給月数 B 月	較差 A-B 月	勧告 (改定月数) 月		
7年度	4.92	4.85	0.07	0.05	4.90	4.65

※「民間の支給割合」は民間事業所で支払われた賞与等の特別給の年間支給割合、「公務員の支給月数」は期末手当及び勤勉手当の年間支給月数です。

(5) 社会と公務の変化に応じた給与制度の整備（給与制度のアップデート）の実施状況について

【概要】国家公務員給与においては、行政職俸給表(一)において3級から7級までの初号近辺の号俸をカットし、これらの級の初号の俸給月額の上上げを行うとともに、8級から10級の隣接する級間での俸給月額の重なるの解消等を行っている。その他、各種手当について見直しを行っている。

① 給料表の見直し

【給料表の改定実施時期】

令和8年4月1日

【実施内容】

- 行政職俸給表(一)について、国の見直し内容を踏まえ、5級は初号近辺の号給をカットし、これらの級の初号の給料月額の上上げを実施。6級は初号の給料月額を引き上げつつ、刻みの大きい簡素な号給構成とする。
- 医療職俸給表(二)及び医療職俸給表(三)についても、行政職俸給表(一)との均衡を基本に見直す。
- 行政職俸給表(二)について、職務給原則の更なる徹底を図り、昇任意欲の醸成に資する職務・職責をより重視したメリハリある給与制度を実現するため、見直しを行う。

② 地域手当の見直し

実施内容(国基準における場合の支給割合及び当該団体の支給割合)

(支給割合) 国基準20%に対し、新宿区においても20%を支給。

区分	各年度の支給割合		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
国基準による支給割合	20%	20%	20%
新宿区の支給割合	20%	20%	20%

③ その他の見直し

扶養手当、管理職手当の見直しを実施しました。(令和8年4月1日実施)

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況(7年4月1日現在)

① 一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
新宿区	40.2 歳	309,318円	444,240円	388,129円
東京都	42.3 歳	329,304円	420,139円	372,087円
国	41.9 歳	332,237円	-	414,480円
特別区平均	39.5 歳	306,499円	434,733円	384,346円

② 技能労務職

区分	公務員					民間			参考 A/B
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額(A)	平均給与月額(国ベース)	対応する民間の類似職種	平均年齢	平均給与月額(B)	
新宿区	52.1 歳	219人	284,172円	394,627円	349,337円	-	-	-	-
うち 清掃職員	50.9 歳	141人	286,304円	410,086円	352,688円	廃棄物処理業従業員	48.0 歳	320,600円	1.28
うち 学校給食員		0人	0円	0円	0円	飲食物調理従業者	45.1 歳	270,300円	0.00
うち 守衛	51.2 歳	4人	277,950円	409,200円	342,175円	警備員	51.9 歳	266,900円	1.53
うち 用務員	58.3 歳	24人	299,800円	378,309円	364,776円	他に分類されない運搬・清掃・包装等従事者	49.0 歳	251,000円	1.51
うち 自動車運転手	46.9 歳	7人	268,571円	381,529円	328,886円	乗用自動車運転者	60.2 歳	253,900円	1.50
うち その他技能労務職	53.4 歳	43人	271,574円	353,988円	333,937円	-	-	-	-
東京都	53.7 歳	140人	309,925円	366,087円	341,488円	-	-	-	-
国	51.3 歳	1,703人	294,567円	-	337,907円	-	-	-	-
特別区平均	53.3 歳	213人	285,018円	387,770円	349,295円	-	-	-	-

区分	年収ベース(試算値)の比較		
	公務員 (C)	民間 (D)	C/D
新宿区	-	-	-
うち 清掃職員	6,647,532円	4,457,900円	1.49
うち 学校給食員	0円	3,557,900円	0
うち 守衛	6,763,500円	3,533,300円	1.91
うち 用務員	6,213,008円	3,395,700円	1.83
うち 自動車運転手	6,218,448円	3,335,600円	1.86
うち その他技能労務職	-	-	-

※ 民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用しています(令和4年～令和6年の3ヵ年平均)。

※ 技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではありません。

※ 年収ベース(試算値)の「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を12倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値です。

### ③教育職

区分	平均 年齢	平均 給料月額	平均 給与月額
新宿区	36.0 歳	287,962 円	439,164 円
東京都	39.7 歳	354,959 円	458,724 円
特別区平均	38.0 歳	340,103 円	452,232 円

(注)1 「平均給料月額」とは、7年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均です。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したもので、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものです。

また、「平均給与月額(国比較ベース)」は、比較のため、国家公務員と同じベース(=時間外勤務手当等を除いたもの)で算出しています。

### (2) 職員の初任給の状況 (7年4月1日現在)

区 分		新宿区	東京都	国
一般行政職	大 学 卒	220,000円	225,500円	一般職 220,000円
	高 校 卒	182,000円	188,000円	188,000円
技能労務職		173,200円～177,500円	185,400円	-----
教育職	大 学 卒	233,000円	241,700円	-----
	短大卒	215,200円	-----	-----

### (3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況 (7年4月1日現在)

区 分		経験年数10年	経験年数20年	経験年数25年	経験年数30年
一般行政職	大 学 卒	296,856円	368,650円	372,050円	429,690円
	高 校 卒	248,320円	333,025円	337,600円	381,833円
技能労務職		253,400円	297,700円	314,962円	303,850円
幼稚園教育職		333,944円	393,848円	414,500円	422,400円

※ 経験年数には、採用前の職歴などを加算する場合があります。

### 3 一般行政職の級別職員数等の状況

#### (1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況（7年4月1日現在）

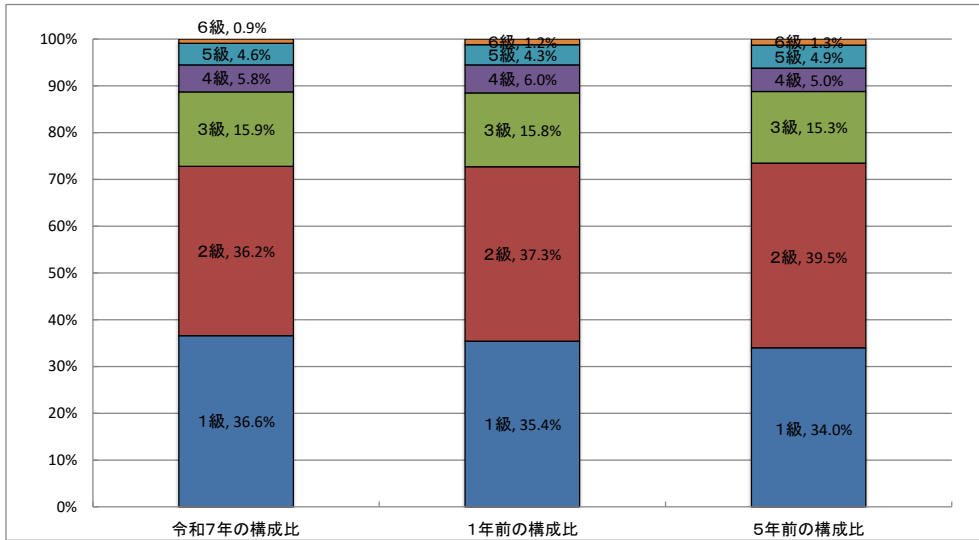
区分	6級	5級	4級	3級	2級	1級	計
標準的な職務内容	部長	課長	課長補佐	係長・主査	主任	2～6級までの職務に属さない係員	
職員数	14人	71人	90人	248人	564人	571人	1,558人
構成比	0.9%	4.6%	5.8%	15.9%	36.2%	36.6%	100%
1号給の給料月額	379,400円	303,500円	276,700円	254,100円	231,500円	177,400円	
最高号給の給料月額	518,100円	457,100円	431,000円	408,800円	357,600円	323,900円	

※「新宿区職員の給与に関する条例」に基づく給料表の級区分によります。

※ 標準的な職務内容は、それぞれの級に該当する代表的な職務です。

※ 職員数は「地方公務員給与実態調査」の分類による一般行政職の人数です。

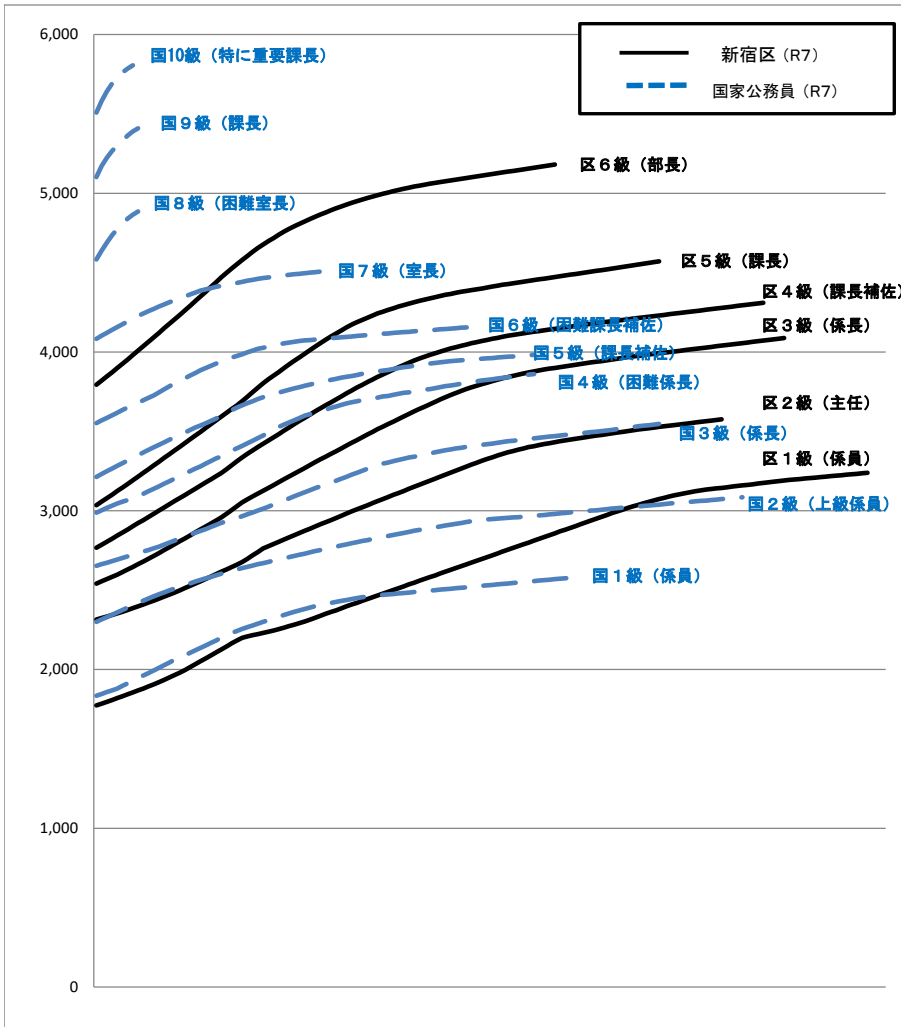
※ 構成比は端数を調整しています。



※平成30年4月1日より8級制から6級制に改正しています（旧給料表の1級、2級及び3級並びに、6級及び7級をそれぞれ統合）。

平成29年度まで	平成30年度から
旧1級職	新1級職(係員)
旧2級職	
旧3級職(主任主事)	新2級職(主任)
旧4級職(係長級)	新3級職(係長級)
旧5級職(統括係長)	新4級職(課長補佐)
旧6級職(課長級)	新5級職(課長級)
旧7級職(統括課長)	
旧8級職(部長級)	新6級職(部長級)

(2) 国との給料表カーブ比較表（行政職（一））（7年4月1日現在）



(3) 昇給への人事評価の活用状況

令和7年4月2日から令和8年4月1日までににおける運用	管理職員		一般職員	
	昇給可能な区分	昇給実績がある区分	昇給可能な区分	昇給実績がある区分
イ 人事評価を活用している	○	○	○	○
活用している昇給部分				
上位、標準、下位の区分	○	○	○	○
上位、標準の区分				
標準、下位の区分				
標準の区分のみ(一律)				
ロ 人事評価を実施していない				
活用予定時期				

#### 4 職員の手当の状況

##### (1) 期末手当・勤勉手当

新宿区	東京都	国
1人当たり平均支給額(6年度) 1,763千円	1人当たり平均支給額(6年度) 2,053千円	—
(6年度支給割合) 期末手当 2.50 月分 勤勉手当 2.35 月分 ( 1.40 )月分 ( 1.15 )月分	(6年度支給割合) 期末手当 2.50 月分 勤勉手当 2.35 月分 ( 1.40 )月分 ( 1.15 )月分	(6年度支給割合) 期末手当 2.50 月分 勤勉手当 2.10 月分 ( 1.40 )月分 ( 1.00 )月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 職務段階別加算 5～20% 管理職加算 15～20%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 職務段階別加算 3～20% 管理職加算 15～25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5～20% 管理職加算 10～25%

※( )内は、再任用職員に係る支給割合です。

○勤勉手当への人事評価の活用状況(一般行政職)

令和8年度中における運用	管理職員		一般職員	
イ 人事評価を活用している	○		○	
活用している成績率	支給可能な成績率	支給実績がある成績率	支給可能な成績率	支給実績がある成績率
上位、標準、下位の成績率	○	○	○	○
上位、標準の成績率				
標準、下位の成績率				
標準の成績率のみ(一律)				
ロ 人事評価を活用していない				
活用予定時期				

(2) 退職手当（7年4月1日現在）

新宿区			国		
(支給率)	自己都合	勤奨・定年	(支給率)	自己都合	勤奨・定年
勤続20年	18.00 月分	24.55 月分	勤続20年	19.6695 月分	24.586875 月分
勤続25年	28.00 月分	32.95 月分	勤続25年	28.0395 月分	33.27075 月分
勤続35年	39.75 月分	47.70 月分	勤続35年	39.7575 月分	47.709 月分
最高限度	39.75 月分	47.70 月分	最高限度	47.709 月分	47.709 月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置(2～20%加算)		その他の加算措置	定年前早期退職特例措置(3～45%加算)	
1人当たり平均支給額	2,158千円	21,092千円			

※退職手当の1人当たり平均支給額は、6年度に退職した全職員に係る平均額です。

(3) 地域手当（7年4月1日現在）

支給実績(6年度決算)		2,122,113千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(6年度決算)		703千円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度(支給率)
新宿区	20.0%	3,015人	20.0%

(4) 特殊勤務手当（7年4月1日現在）

支給実績(6年度決算)		41,213千円		
支給職員1人当たり平均支給年額(6年度決算)		139千円		
職員全体に占める手当支給職員の割合		9.9%		
手当の種類(手当数)		5種類		
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績(6年度実績)	左記職員に対する支給単価
特定危険現場業務手当	建築指導課、契約管財課等に勤務する職員	①昇降機等の検査、②高所における工事監督・検査、③特定粉じん除去作業等における工事監督・検査	122千円	①1台につき190円、400円 ②日額290円、400円 ③日額230円
福祉事務所現業手当	生活福祉課又は保護担当課に勤務する職員	生活保護法等に定める業務を行うための家庭訪問等	9,230千円	日額230円～460円
児童相談所等現業手当	子ども家庭支援課に勤務する職員で児童相談所に係る業務の研修として他の地方公共団体、社会福祉法人に派遣されている職員	児童相談所等に係る業務	7,436千円	日額950円、1,470円
感染症予防業務従事手当	保健所又は保健センターに勤務する職員	一定の感染症の患者に接する業務	30千円	日額160円～660円
清掃業務従事手当	清掃事務所に勤務する職員	ごみの収集・運搬等	24,394千円	日額700円

(5) 時間外勤務手当

支給実績(6年度決算)	1,000,564千円
職員1人当たり平均支給年額(6年度決算)	331千円
支給実績(5年度決算)	948,514千円
職員1人当たり平均支給年額(5年度決算)	316千円

(注) 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績(6年度決算)」と同じ年度の4月1日現在の総職員数(管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。)であり、短時間勤務職員を含む。

## (6) その他の手当 (7年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (6年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (6年度)
管理職手当	管理又は監督の地位にある職員に支給 【月額】 ・部長職 127,600円 (101,000円) 142,400円 (107,200円) ・重要困難課長職 101,500円 (73,200円) 92,300円 (66,500円) ・課長職 94,800円 (73,100円) (医師、歯科医師である部長職) (医師、歯科医師である課長職) ※()は、再任用職員の手当額です。	異なる	内容及び支給単価	141,519千円	1,114千円
初任給調整手当	医師、歯科医師 大学卒業後の期間に応じ、118,000円～268,500円 ※科学技術等の専門的な知識を有する職員の採用を容易にするため、民間における賃金との差を考慮して設けられています。	異なる	内容及び支給単価	10,017千円	2,504千円
扶養手当	扶養親族のある職員に支給 【月額】 ・配偶者及びその他扶養親族 6,000円 扶養親族たる子 9,000円 ※扶養親族である子の満16歳となる年度の始めから満22歳となる年度の末までは、子ひとり当たり4,000円を加算します(配偶者のない場合の第一子を除く)。	異なる	支給単価	138,277千円	178千円
住居手当	世帯主及びこれに準ずる者 【月額】 ・月額家賃27,000円以上を負担する者 8,300円 加算額当該年度末 27歳まで 18,700円 加算額当該年度末 28歳から32歳まで 9,300円	異なる	内容及び支給単価	135,747千円	164千円
通勤手当	原則として2km以上の通勤距離がある職員が交通機関・交通用具等を利用している場合に支給 原則として4月と10月に6ヶ月分を一括支給。 ・交通機関等の利用者・・・運賃相当額(原則として6ヶ月定期券相当額。1ヶ月当たり55,000円を限度。) ・交通用具等の利用者・・・通勤距離に応じ、原則として月当たり2,600円～13,000円	異なる	交通用具等の使用距離区分と支給単価	401,975千円	142千円
単身赴任手当	勤務地を異にする異動等に伴い、転居し、やむを得ない事情により配偶者と別居し、配偶者と同居していた住宅からでは通勤困難(距離制限あり)である場合で、単身で生活することを常況とする職員に支給 【月額】 30,000円	異なる	距離制限と支給単価	400千円	400千円
休日給 夜勤手当	休日又は深夜に勤務した職員に支給 ・休日給 一時間当たりの給与額×1.35×勤務時間 ・夜勤手当 一時間当たりの給与額×0.25×勤務時間	同じ	—	76,546千円	133千円
宿日直手当	宿日直を行った職員に支給 【1回】 ・一般の宿日直 6,600円 ・年末年始の日から始まる一般の宿日直 8,900円 ・防災対策要員の宿日直 9,000円 ・年末年始の日から始まる防災対策要員の宿日直 11,300円 ※5時間未満の勤務の場合の手当額は半額。	異なる	内容及び支給単価	5,057千円	50千円
管理職員特別勤務手当	管理職員が週休日又は休日に勤務した場合に支給 【1回】 ・部長職 12,000円 週休日等以外の日 6,000円 ・統括課長職、課長職 10,000円 週休日等以外の日 5,000円 ※6時間超の勤務の場合、手当額を5割増し。	異なる	支給単価	865千円	30千円
義務教育等 教員特別 手当	義務教育等の教育職員に支給 【月額】 職務の級及び号給に応じ、1,120円～4,150円 ※義務教育の教員について人材を確保し、教育水準を維持するために設けられています。	—	—	2,353千円	30千円

5 特別職の報酬等の状況（7年4月1日現在）

区 分		給料月額等			
		給料	地域手当	(参考)特別区における給料の最高額/最低額	
給料	区 長	1,206,000円	156,780円	1,305,000円	921,600円
	副 区 長	967,000円	125,710円	1,042,000円	817,100円
報酬	議 長	975,000円	- 円	975,000円	863,700円
	副 議 長	832,000円	- 円	832,000円	770,400円
	議 員	637,000円	- 円	637,000円	600,200円
期末手当	区 長 副 区 長 副 議 長 副 議 員	(6年度支給割合) 3.30 月分			
退職手当	区 長	(算定方式) 退職時給料月額×勤続期間1年につき100分の437		(1期の手当額) 21,080,880円	(支給時期) 任期毎
	副 区 長	退職時給料月額×勤続期間1年につき100分の301		11,642,680円	任期毎
	備 考				

※ 退職手当の「1期の手当額」は、7年4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期（4年＝48月）勤めた場合における退職手当の見込額です。

## 6 職員数の状況

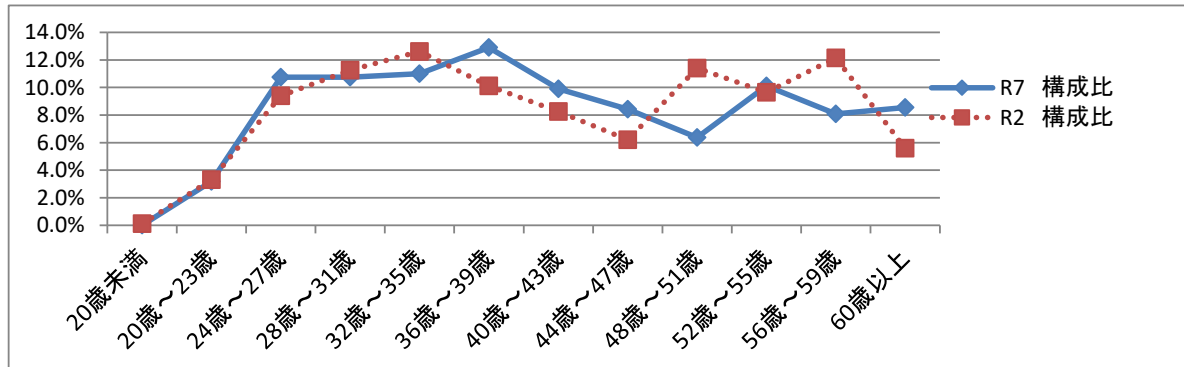
### (1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

部門	区分	職員数		対前年増減数	主な増減理由	
		令和7年度	令和6年度			
普通会計部門	一般行政部門	議会	15人	16人	▲1	職員配置の調整による減
		総務	488人	475人	13	派遣研修職員の増及び国勢調査事務増による増
		税務	99人	101人	▲2	基幹業務システムの見直し終了による減
		民生	1,064人	1,076人	▲12	調理業務の委託による減及び育休代替職員の減
		衛生	440人	450人	▲10	感染症関連業務の縮小による減
		労働	5人	5人	0	
		農林	0人	0人	0	
		商工	18人	20人	▲2	事業委託化による減
		土木	284人	289人	▲5	職員配置の調整及び欠員による減
		小計	2,413人	2,432人	▲19	
	教育部門	258人	267人	▲9	学校用務業務委託による減	
	小計	2,671人	2,699人	▲28	<参考> 人口1万人当たり職員数 75.73人	
公営企業等会計部門	その他	158人	164人	▲6	任期付職員の退職による減	
合計		2,829人	2,863人	▲34	<参考> 人口1万人当たり職員数 80.21人	

※2 [ ]内は、条例定数の合計です。

### (2) 年齢別職員構成の状況（7年4月1日現在）



※年齢は令和8年3月末日現在

区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	合計
R7職員数	0人	90人	304人	304人	311人	365人	280人	238人	180人	286人	229人	242人	2,829人
構成比	0.0%	3.2%	10.7%	10.7%	11.0%	12.9%	9.9%	8.4%	6.4%	10.1%	8.1%	8.6%	100.0%

### (3) 職員数の推移

(単位:人・%)

部門	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	過去5年間の増減数(率)
一般行政	2,359	2,375	2,399	2,427	2,432	2,413	54(2.3%)
教育	270	272	269	267	267	258	▲12(▲4.4%)
普通会計 小計	2,629	2,647	2,668	2,694	2,699	2,671	42(1.6%)
公益企業等会計 小計	161	159	158	164	164	158	▲3(▲1.9%)
総合計	2,790	2,806	2,826	2,858	2,863	2,829	39(1.4%)

(注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。